

ポスト3.11の日本の国際政治学

——日本はガバナンス危機をいかに克服するのか?——

International Relations in Post-3/11 Japan
- How can Japan Overcome its Governance Crisis? -

2011年11月13日(日) 14:00~16:30
つくば国際会議場 大ホール

■ 司会者：星野 俊也 (大阪大学)

■ 報告者：藤原 帰一 (東京大学)

「安全確保の政治 —リスク回避と政策選択—」

鈴木 達治郎 (原子力委員会)

「福島事故と原子力ガバナンスの課題」

長 有紀枝 (立教大学)

「復興からより一層の国際協力へ
—再出発する日本のビジョンとは—」

■ 討論者：納家 政嗣 (青山学院大学)

亀山 康子 (国立環境研究所)



被災後の三陸海岸では被害を免れた桜や梅の木が花を咲かせていました。
(アジアプレス 野中章弘氏 撮影)

■ 問い合わせ先：jair2011.taikai@gmail.com

■ アクセス：つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

TEL：029-861-0001

URL：<http://www.epochal.or.jp/access/index.html>

(つくばエクスプレスつくば駅より徒歩10分)

■ 参加費無料

財団法人日本国際政治学会は、国際政治学・国際関係論分野での学術研究交流を行い、50年以上の歴史を持つ学術団体です。和文誌『国際政治』と欧文誌 International Relations of the Asia-Pacific を刊行しています。

2011年度研究大会開催にあたり、公益財団法人社会科学国際交流江草基金より助成を受けました。記して感謝申し上げます。